

SakaI-D活用方針 ver.1.0について

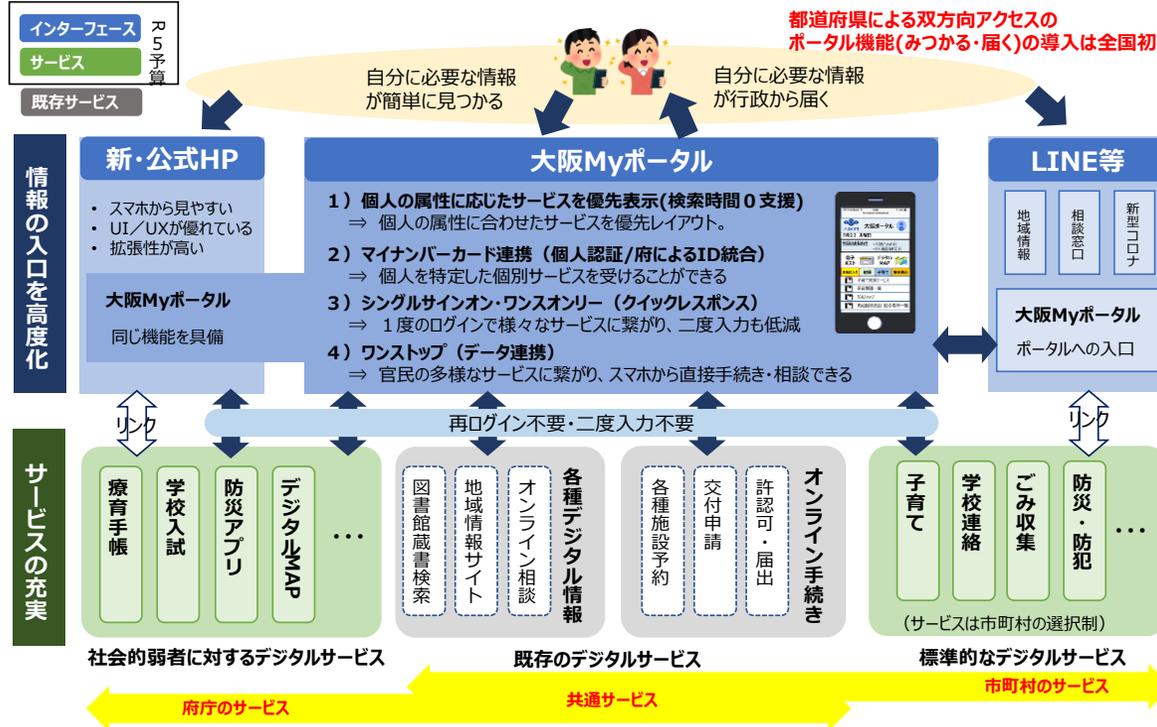
1. 背景

大阪府都市OS（ORDEN）の整備状況

- 大阪府は、令和4年度にORDENを整備。令和5年度に、ORDEN上の新規機能として「大阪Myポータル（仮称）」を整備したのち、府民・市民向けに提供予定。
- 大阪Myポータル（仮称）は、住民向け情報発信・デジタルサービス向上と市町村住民間のデジタル格差解消のため、ORDENと連携し、①市町村のサービスを連携 ②マイナンバーカードと連携した個別通知/電子ポスト ③ワンストップ申請等を実現するほか、市町村が個別にコンテンツを作成、発信する機能を有する
(大阪府資料より)

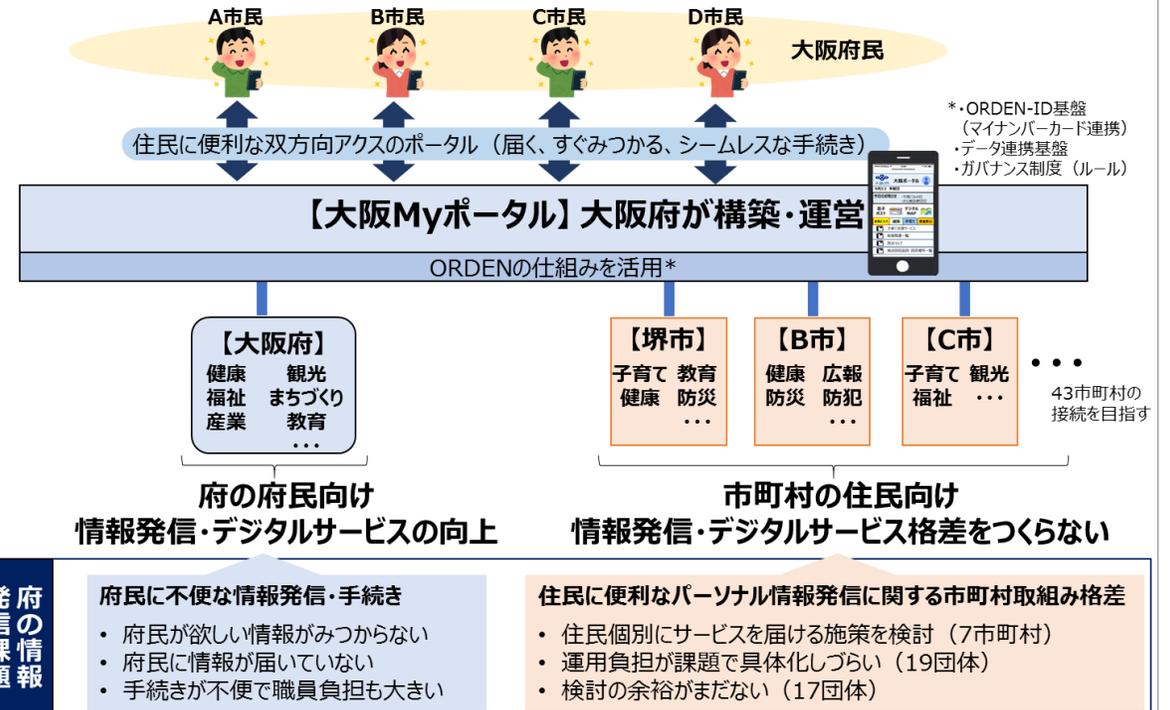
住民サービス向上に資するデジタルサービス（全体像）

- ポータル機能で、既存のサービスを含めて住民の行政サービスへのアクセスを容易にする
- 単に情報にアクセスできるだけでなく、マイナンバーカードと連携することなどで、個人の属性に応じたパーソナライズされたサービスが、行政側からも発信（アウトリーチ）され、行政サービスの利便性が飛躍的に向上



大阪府の住民向け情報発信課題を解決

大阪Myポータルは、大阪府としての住民向け情報発信・デジタルサービス向上と市町村の住民向け情報発信・デジタルサービス格差をなくすため、大阪府が開発・整備し、運用する。また、府が整備運営することで、市町村域を超えた行政サービスを提供する。



大阪府・堺市におけるORDEN・大阪Myポータル全体像

← 公的個人認証を必要とするサービス → ← 外部サービス（IDによる名寄せ） →



SakaI-Dがハブとなり、国、府、市のサービスを集約

SakaI-Dポータル

※大阪府が府民・府内市町村向けにポータル機能を整備（大阪Myポータル）
府のポータル機能を活用し、R5年度、堺市民向けに順次カスタマイズして運用を開始する予定



ORDEN（データ連携基盤）

SakaI-D

- ・マイナンバーカード連携によるID
- ・ソーシャルアカウント連携によるID



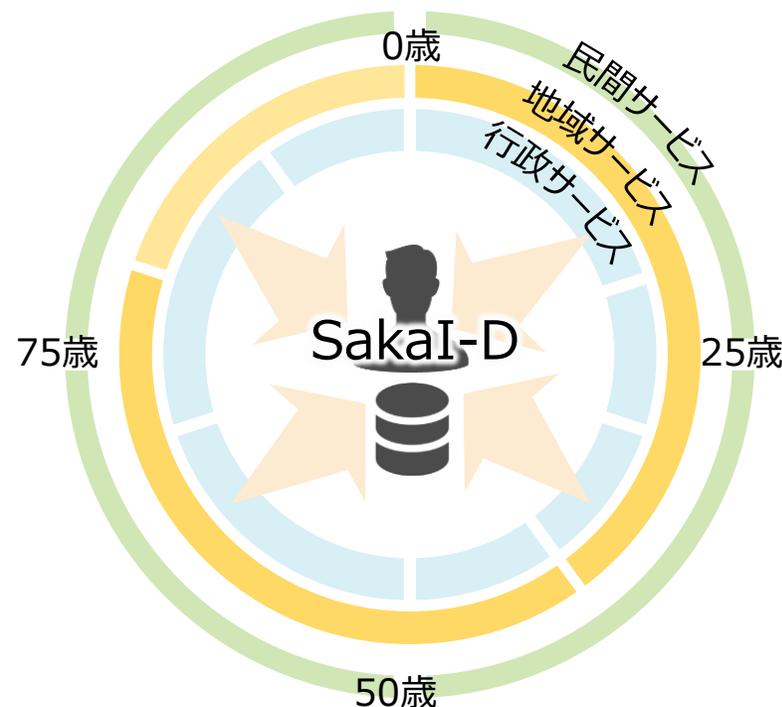
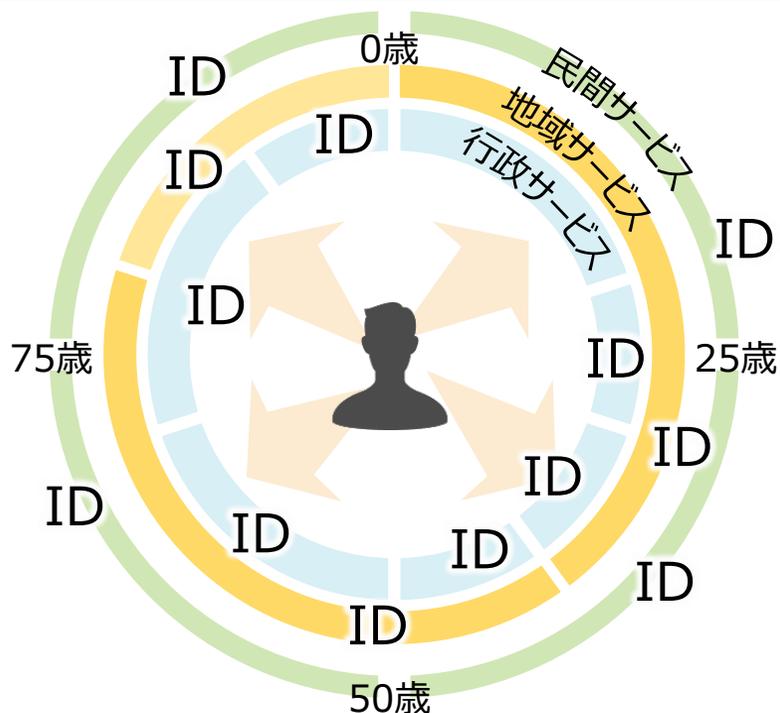
2.堺市の都市OS活用に関する考え方

SakaI-D活用方針とは

- 将来にわたる住民のウェルビーイング向上をめざし、本人の同意に基づき、さまざまなサービスのIDとデータを連携させ、個々の住民に適したサービスをワンストップで提供していく考え方を「SakaI-D活用方針」と定義
- この考え方にに基づき、国や府の動き、技術革新などを的確に捉え、住民サービスの利便性の向上や新たなサービス創出などを積極的に進めることで、具体的な活用シーンを順次、広げていく（まずはver1.0として作成し、活用シーンを拡大）

これまでの、サービスの利用の都度、
必要なサービスを自身で探し、自身でIDを作成

公民のサービスをワンストップで利用できる共通のID
SakaI-D（サカイディ）をORDEN上に整備



※大阪府が整備する広域都市OS「ORDEN」で提供するORDEN-IDのうち、堺市民にかかわるIDを「SakaI-D」と呼びます。



SakaI-D

重点
方針

＜重点方針①＞
「人」にフォーカスした
サービスの提供

＜重点方針②＞
個々に寄り添う
アウトリーチ型サービス提供

＜重点方針③＞
地域・民間事業者との
連携によるサービス提供

サービス
拡充方針

ライフステージに最適化された
行政サービス提供

- 子育てや福祉など分野横断と、経年的アプローチによるライフステージに対応したサービス提供
- マイナンバーカードによる個人認証などを活用した、個人に寄り添ったきめ細かなサービス提供

行動変容を伴う
各種啓発サービスの提供

- 行政サービスの利用データ等を蓄積し、情報発信から行動変容を促進できる発信へ
- 単年度の事業でなく複数年のサービス提供によりデータを蓄積し施策立案に活用

エリアの特性に応じた
地域の共創サービス提供

- エリア特性に応じたウェルビーイングに向け、都市OSを活用し、住民とさまざまな活動・サービスを結び付け
- 民間事業者・市民とサービスを共創するプラットフォームの構築

個人だけでなく、地域を幸せにするウェルビーイング実現

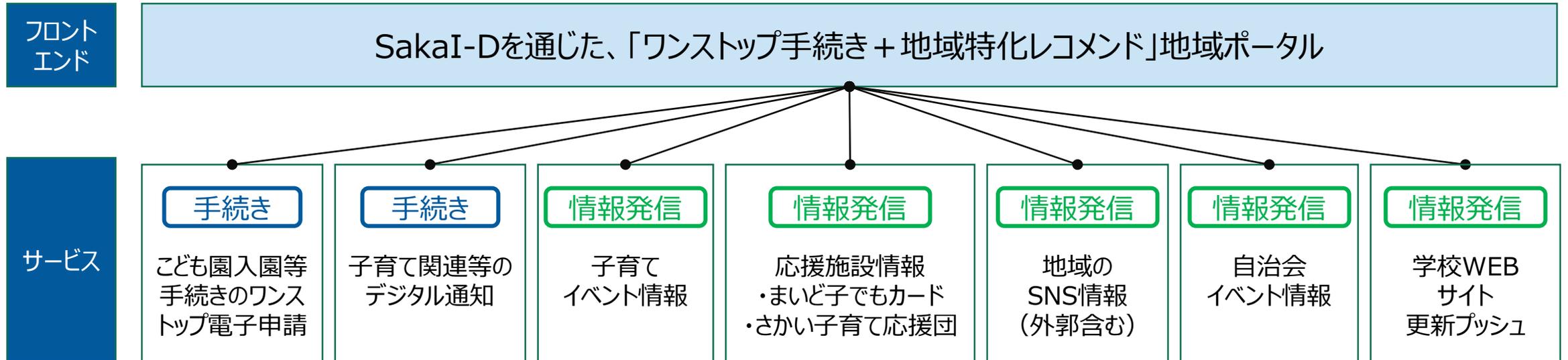
(参考) 活用シーンのイメージ

A. 子育て世代向け地域ポータル（行政分野）

- 市内の「子育て世代に届けたい」情報・サービスを集約、利用者に特化した情報、手続きを提供
 - 出生時等にSakaI-Dを申請してもらい、年齢等にあわせたサービスや情報を発信、「必要な情報が受動的に届く」を実現
 - 必要な手続き～通知をワンストップ化し、「窓口に行かなくても手続きできる」を実現
 - 幼児教育から小学校教育の情報や、地域の情報、周辺のSNS等、行政だけでなく、地域の情報を集約し発信



住んでいる場所、
子どもの年齢、校区等を登録



B. 申請レコメンド、ワンストップ支援（行政分野）

- マイナンバーカードを活用し、SakaI-Dを利用する個人の認証しておくことで、個人に必要な手続きの案内から完了の通知までをワンストップ化し、迅速な行政手続き、通知の紛失防止を実現
- 将来的には給付金支給手続きにも応用し、「必要な方に、すぐ届ける」仕組みとして提供

BEFORE

- 申請フローが分断されている
- 郵送に時間と配送コストがかかっている



AFTER

- SakaI-Dひとつで申請をワンストップ化
- すべてデジタルで完結し、手続きの簡易化、通知の紛失防止を実現（SakaI-Dではマイナンバーカードを活用し、スマートフォン1台で本人認証が可能）

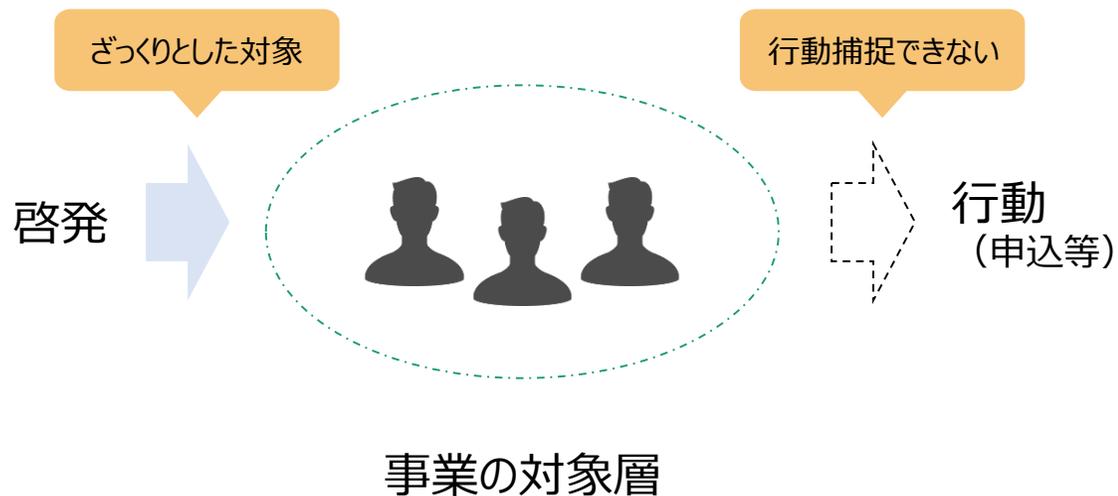


C. 啓発事業の高度化（行政分野）

- 従来は「子育て世代」等、セグメント別に情報発信していた啓発情報発信を①よりきめ細かく②個人に特化したパーソナライズな情報の発信に高度化
- 啓発を通じた施策への参加状況、アンケートをデータ化し、EBPM等中長期で効果的な啓発の推進が可能に

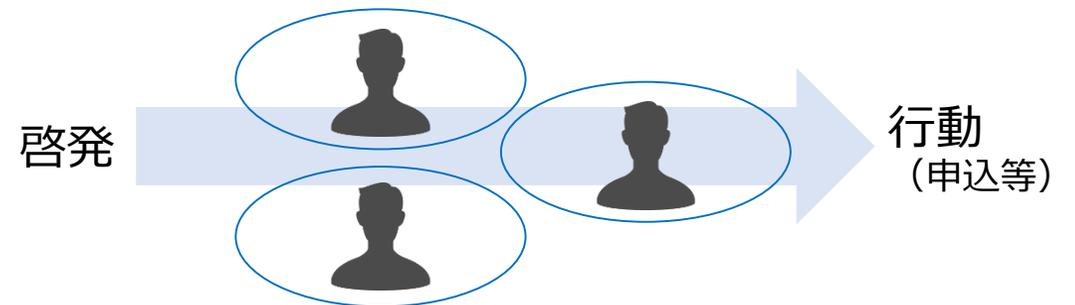
BEFORE

- 事業の対象層にあわせて、啓発を実施
- 啓発はアナログ/デジタルを併用しているが、効果測定が難しく、効果を追っていくことが現状



AFTER

- 「子育て層のうち、3歳の子どもをもつ、父親」といった、詳細な対象層を対象としたプロモーションを実施可能
- 啓発後の体験申込等をワンストップで発信することで啓発効果を測定しやすくすることが可能
- 主な活用シーン：がん検診・特定健診の受診勧奨、省エネ活動の推進、里親制度の認知向上等



①対象をきめ細かく設定 ②啓発～行動をワンストップ化

D.民間事業者・市民との共創（公民連携分野）

- スマートシティの重点地域でもある泉北ニュータウン地域にて組成したコンソーシアムを軸に、民間事業者・市民とサービス共創
- SakaI-Dで利用するポータルを整備し、泉北ニュータウン地域の課題解決にむけた一体的な取組に挑戦

<民間事業者> コンソーシアム内WGの取組

- ポータルに対し、サービスを提供
- 利用者の反応を見やすく、スピーディなサービス検証を提供

<堺市・コンソーシアム> 共創の仕組・場を提供

- SakaI-Dを利用し、ワンストップでコンソーシアムのサービスを提供
- 市民の声を収集する仕組を整備

<住民> 地域の取組への参画

- 住民の意見を基にしたサービス創出とフィードバック

